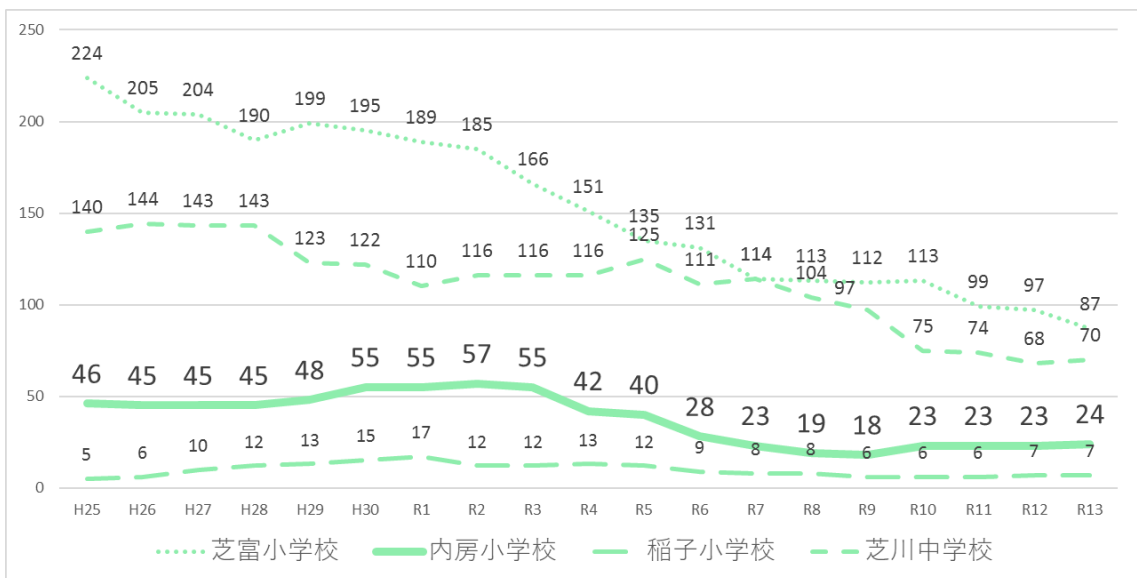


学校の再編の背景

少子化による児童生徒数の減少に伴い、富士宮市では令和6年4月に「富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を定め、複式学級が存在する学校等の再編を進めています。内房小学校でも令和7年5月1日現在の全校児童数が23人で、全てのクラスが複式学級となっています。

表 芝川中学校区の児童生徒数の推移



こどもたちの未来を考える協議会を設置

このような状況を踏まえ、内房小学校の児童の保護者や内房地区にお住まいの方々との意見交換会を経て、内房小学校の再編の方向性について話し合う内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会（こども協議会）を設置しました。

令和7年11月5日第1回のこども協議会を開催

内房小学校の児童の保護者や内房地区在住の未就学児の保護者、内房地区の区長、内房地区在住の市議会議員計11人を委員として、第1回のこども協議会を令和7年11月5日に開催しました。

会長・副会長を選出

教育委員会から、会長を望月内房第2区長、副会長を高木PTA会長として提案し、委員の皆様にご承認いただきました。

教育委員会からの提案

教育委員会では、これまでの意見交換会から統合についてスピード感をもって進めてほしいという意見を踏まえ、教育委員会から内房小学校について芝富小学校への編入統合を提案しました。また、提案としては、①令和9年4月統合案、②令和10年4月統合案の2案を示しました。

委員からの意見

これに対して、委員からは次のような意見が出されました。

- ・内房中学校と稲子中学校と芝富中学校が一緒になって芝川中学校になったように三校が一緒になって芝川小学校になったら良い。
- ・意見交換会では今回のような具体的な提案がなかったので、この提案を受けてもっと意見が出せると思う。
- ・人数が多ければ多い方が良いのは分かるが、現状で困ってないと言っている人もいる。
- ・富士宮市のこどもたちが同じような環境で教育を受けさせたいと思う。
- ・反対する方にも寄り添うために反対意見に対する回答を示してほしい。

協議会に関するQ&A

Q1 この協議会で何が話し合われるの？

A1 内房小学校の再編の方向性や再編に関して必要なことについて話し合います。

Q2 今後はどのようなスケジュールで進むの？

A2 およそ2か月に1回の間隔で協議会を開催し、半年から1年をかけて教育委員会に提出する意見書の内容を決定します。

【次回の開催日程・会場】

- ・令和8年1月21日（水） 午後7時から
- ・芝川公民館内房分館

※当日の傍聴も受け付けています。

発行：富士宮市教育委員会教育総務課

住所：富士宮市弓沢町150番地

電話：0544-22-1182

Mail：e-somu@city.fujinomiya.lg.jp